

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団
2017年度（後期）指定公募
「市民の集い開催への助成」
完了報告書

テーマ：

市民公開講座

「医療者が在宅看取りでの経験を語る」

【申請者名】 酒 井 俊

【所属機関】 公益財団法人 北海道医療団 帯広第一病院

【職 名】 副院長

【所属機関所在地】 〒080-0014
北海道帯広市西4条南15丁目17番地3

【提出日】 平成30年 7月20日（金）

1. 目的

十勝の在宅医療普及に向け、一般市民に対する在宅医療の推進啓発として、市民公開講座を開催する。今回は在宅看取りに重点を置き、在宅看取りについて市民の理解を深める機会とすることを主たる目的とする。

2. 開催概要

名称：市民公開講座「医療者が在宅看取りでの経験を語る」

日時：平成30年6月23日（土）14時～

場所：とかちプラザ視聴覚室

主催：十勝在宅医療ネットワーク、公益財団法人北海道医療団帯広第一病院

座長：帯広第一病院 副院長 酒井 俊

内容：1. 在宅看取りでの経験を語る

(1) 医療法人社団あすなる会

帯広記念病院 院長 中原 哲 氏

(2) 特定非営利活動法人かしわのもり

訪問看護ステーションかしわのもり 統括所長 松山 なつむ 氏

2. 討論「在宅看取りは特別な人しかできないの？」

座長、中原氏、松山氏

3. 実施状況

(1) 事前打合せ：

①登壇者打合せ

日時：平成30年6月23日（土）12：30～13：40

場所：帯広第一病院 応接室

参加者：講師2名、座長、進行担当スタッフ、※運営統括（②⇒①⇒②）

内容：各演者講話内容確認、討論の進め方、方向性等のすり合わせ

②関係スタッフ進行打合せ

日時：平成30年6月23日（土）12：15～12：50

場所：帯広第一病院 面談室

参加者：司会担当、照明・PA・PC担当、討論・フロア担当、※運営統括

内容：当日進行スケジュールの確認、変更事項伝達、PPT、DVD 使用の流れ、舞台設営の確認、会場安全確保について、登壇者の動き確認ほか

(2)市民公開講座「医療者が在宅看取りでの経験を語る」

参加者：129名(登壇者・スタッフ等含まず)、アンケート回収113名

内 容： 1. 在宅看取りでの経験を語る

・ 在宅医の立場から（中原氏）

在宅看取りの現状、在宅医療の始め方、最期の迎え方といった在宅医療・看取りについての説明と、実際の訪問診療の経験談、在宅医として思うこと等お話しいただいた。（約 40 分）

・ 訪問看護師の立場から（松山氏）

訪問看護を始めて間もないころのお話し、印象に残ったご本人の言葉やご家族の言葉、地元高校生に対する「いのちの授業」など取り上げられた。（約 30 分）



酒井座長



中原先生



松山氏

2. 討論「在宅看取りは特別な人しかできないの？」(約 50 分)

座長が「自宅で最期まで療養できない(看取れない)と考える理由は何ですか？」というアンケートを配布。過去のデータをスライドで見ながらそれぞれの項目について登壇者の意見と、会場の参加者の意見を聞き、話し合った。



4. 感想

今回の市民公開講座には大変多くの皆様にご参加いただき、うれしく思うと同時に、定員を超えたお申込みでお断りした方々には大変申し訳なく思っております。講師決定が遅れ、準備時間が少なかったため、何か忘れていないか、進め方に問題がないか不安に思いながら当日を迎えましたが、何とか無事に終了することができ、今はほっとしているところです。参加申込み状況を見ると看護師、介護職といった医療・介護従事者の割合が多かったものの、そのなかには自宅で家族を介護しているので参加して話を聞きたいという方もかなりいらっしゃいました。

前半の中原先生と松山様のお話では、患者様やそのご家族との具体的なやり取りを示されたことで、参加された市民の皆様が、最期まで自宅で過ごす、最期まで家族を自宅で介護する生活というものを

イメージしやすかったかと思います。その人らしい人生を大事に、最期までその人らしい人生を生き抜くことを支える在宅医療と、それに携わる医療者の思いや覚悟といったものを、短い時間でも理解してもらうことができたと思います。

後半の討論では、自宅で最期まで療養できないと考える理由をアンケート形式で会場の参加者に挙手で答えていただき、それぞれの理由について中原先生や松山様の意見などを伺いながら、実際にはどうなのか、ということ会場全体で考えていきました。

提示した理由の中では、経済的な問題と考えられる方は少なく、家族に負担をかける、介護してくれる家族がない、という理由に多く手が上がっていたようです。しかし複数回答のため、どの項目もかなり手が上がっており、ごく普通の人でも在宅看取りができると思えるためには、どれか1つ、2つを解決すればよいというものではないことが改めてわかる結果となりました。

また、往診してくれる医師がないという理由にも多くの方が手を上げていましたが、これについては今すぐに増やす、増えるということは現実的に難しいですが、それを補う体制作りの必要性が多方面で議論されてきているところです。このアンケートでは、訪問看護体制が整っていない、24時間相談できる場所がないという項目にも、往診してくれる医師がない、と同じかそれ以上に手が上がっており、在宅療養を支援する体制がまだまだ不十分であり、討論のなかでも課題が多いと感じました。

十勝のように入院や施設入所志向が強い地域には、在宅医療・介護へ向ける資源も、体制もそろいにくい厳しい状況がありますが、在宅医療に対する理解が広まり、今後需要が高まることで、そこに必要な社会資源が集まってくると考えられます。

討論の最後のほうでは、最近ご家族を自宅で看取られたという市民の方から発言もありました。どのように在宅に移行したのか、何が大変だったのか、実際に直面した問題を話されており、医療者側だけでなく、お看取りをした家族の立場からの生の声を聴くことができ、大変参考になりました。

全体の予定終了時間を約30分も過ぎた為、会場使用時間の都合上、討論のまとめも途中で切り上げる形で終了となってしまいましたが、医療や介護の専門家でなくても、在宅看取りは可能であるということ、可能ではあるけれど、もっと安心して最期まで自宅で過ごす（介護する）ために、何が必要かを会場全体で考えることができ、在宅医療や看取りに対して参加した市民の方々の理解を深めていただけたものと思います。

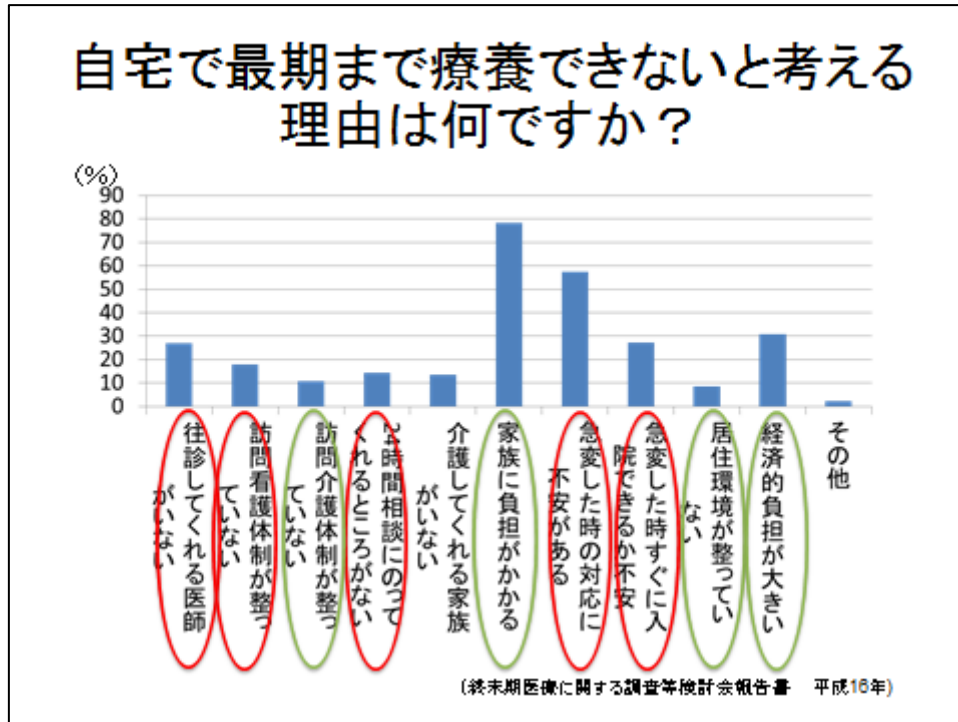
そして参加者が、今回知ったことを家族・友人、職場で話題にしてもらうことで、その周囲の方々にも在宅医療、在宅看取りに関心を持ち、最期の場所として自宅も一つの選択肢と考えるきっかけになれば、最終的にこの市民公開講座は成功といえます。

末筆となりましたが、この市民公開講座が開催できたのは、多くの皆様のご協力と、公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団様の助成によるおかげと、深く感謝申し上げます。

資料

討論「特別な人しか在宅看取りはできないの？」

使用スライド



質問；

自宅で最後まで療養できない（看取れない）
と考える理由はなんですか？

（複数回答可）

1. 往診してくれる医師がいない。
2. 訪問看護体制が整っていない。
3. 24時間相談にのってくれるところがない。
4. 介護してくれる家族がいない。
5. 間近で人の死を見るのが怖い。
6. 病院ならまだできることがあるのに、自宅で何もしないではいられない。
7. 家族に負担がかかる。
8. 急変した時の対応に不安がある。
9. 急変した時にすぐに入院できるか不安。
10. 居住環境が整っていない。
11. 経済的負担が大きい。
12. その他

（ ）

市民公開講座「医療者が在宅看取りでの経験を語る」

日 時：平成 30 年 6 月 23 日（土）14 時～

場 所：とかちプラザ 視聴覚室

主 催：十勝在宅医療ネットワーク、

公益財団法人北海道医療団帯広第一病院

助 成：公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団

- ❖座長 十勝在宅医療ネットワーク代表幹事 酒井 俊
(公益財団法人北海道医療団帯広第一病院 副院長)

□プログラム□

14:00~ 開会挨拶

14:05~ 在宅看取りでの経験を語る

①在宅医

医療法人社団あすなる会 帯広記念病院 院長 中原 哲 先生

(14:35~) ②訪問看護師

特定非営利活動法人かしわのもり

訪問看護ステーションかしわのもり 統括所長 松山なつむ 氏

15:05~ 討論「在宅看取りは特別な人しかできないの？」

討論者 酒井座長、中原氏、松山氏

市民公開講座

医療者が在宅看取りでの 経験を語る

在宅医や訪問看護師が、在宅看取りの場面で何を感じ、
思うのか…。その経験を語ることで、在宅看取りへの理解
を深めていただこうと思います。ぜひ皆様ご参加下さい。

座長 酒井 俊 十勝在宅医療ネットワーク代表幹事
(帯広第一病院 副院長)

1. 在宅看取りでの経験を語る

(1) 中原 哲 氏
(医療法人社団あすなる会 帯広記念病院 院長)

(2) 松山 なつむ 氏
(訪問看護ステーションかしわのもり 統括所長)

2. 討論「在宅看取りは特別な人しかできないの？」
酒井座長、中原氏、松山氏

日時

6月23日(土)14時～15時30分/受付開始13時30分

場所

とかちプラザ 視聴覚室

定員

140名※事前申込制

申込締切

6月19日(火)※定員に達し次第締切

無料

申込方法

FAX…裏面申込書に記載し、
0155-25-1172へ送信

WEB…帯広第一病院ホームページ
申込フォームから

電話…0155-25-3121へ

問い合わせ 帯広第一病院 法人業務推進室 ☎0155-25-3121
主催 十勝在宅医療ネットワーク
助成 公益財団法人 北海道医療団 帯広第一病院
公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

医療者が在宅看取りでの 経験を語る

<タイムスケジュール>

13:30~ 受付開始

14:00~ 開会の挨拶

14:05~ 1. 在宅看取りでの経験を語る

在宅医

訪問看護師

15:05~ 2. 討論

「在宅看取りは特別な人しかできないの?」

15:30~ 閉会

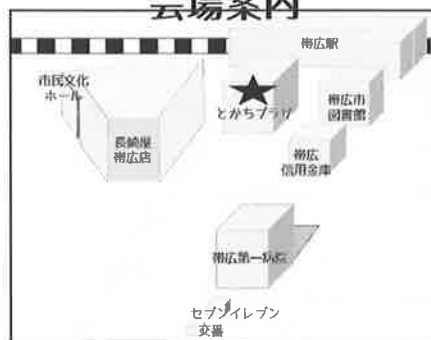
【注意事項】

- ・申込期限に関わらず、定員になり次第締め切りますのでご了承ください。
- ・FAX申込用紙受信後、こちらから申込受付完了のご連絡は致しませんのでご了承ください。

☆お問合せ・お申し込み先☆

【十勝在宅医療ネットワーク事務局】
帯広第一病院 事務局 法人業務推進室
☎0155-25-3121 FAX0155-25-1172

会場案内



※この市民公開講座は、公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団より助成を受けております。

FAX申込用紙 (切り取らずに送信して下さい)

送信先番号 0155-25-1172

6月23日(土)開催の市民公開講座に次のとおり申し込みます。

申込種別 (どちらかに○)			1. 一般			2. 医療・介護・福祉従事者			合計
申込者 代表	ふりがな		日中連絡先						
	氏名		☎() -						
	年齢	20代 30代 40代 50代 60代 70代以上	自宅・携帯・勤務先						
その他の 申込者	ふりがな								合計
	氏名								
	年齢	20代 30代 40代 50代 60代 70代以上	20代 30代 40代 50代 60代 70代以上	20代 30代 40代 50代 60代 70代以上	20代 30代 40代 50代 60代 70代以上	20代 30代 40代 50代 60代 70代以上	20代 30代 40代 50代 60代 70代以上	20代 30代 40代 50代 60代 70代以上	

・定員に達した後のお申込みの場合、お断りのご連絡を致しますので、日中に連絡のつく電話番号等を必ずご記入願います。

・ご記入いただいた情報は本事業以外には使用いたしません。